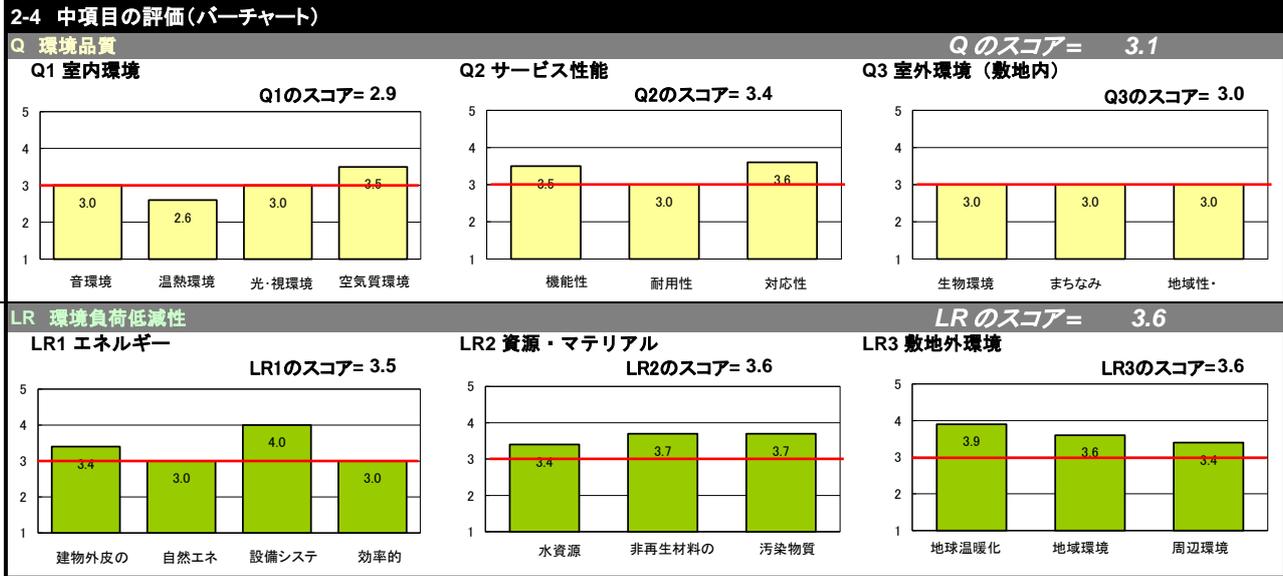
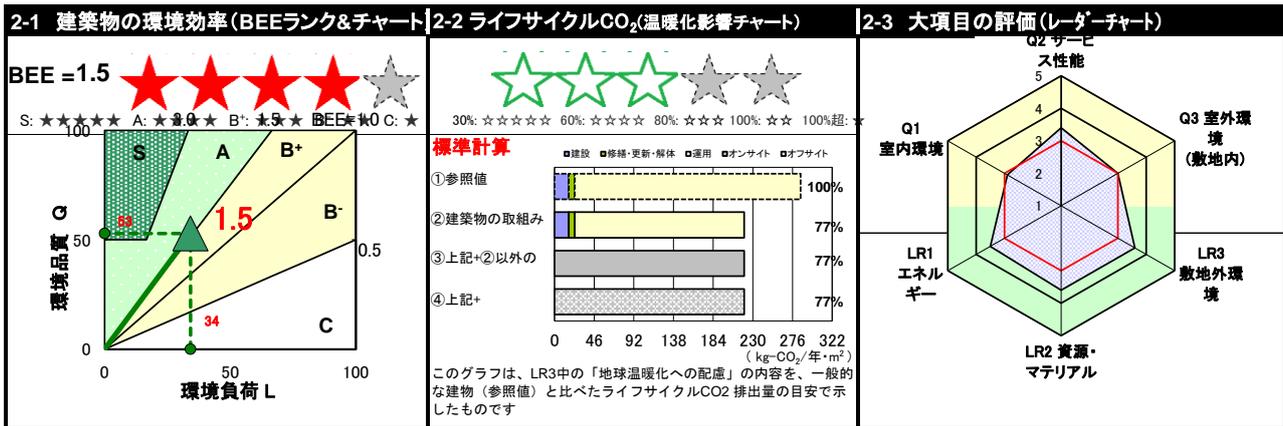


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	エイビイ平塚店	階数	地上1F
建設地	神奈川県平塚市黒部丘325番4	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	300人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285時間/年(想定値)
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年9月1日
敷地面積	16,205 m ²	作成者	株式会社 大川設計
建築面積	6,972 m ²	確認日	2022年9月1日
延床面積	6,656 m ²	確認者	株式会社 大川設計



3 設計上の配慮事項		
総合	平塚駅から徒歩10分の準工業地域に、食品店の建物を計画をした。	その他 改装パソを考慮した、仕上材の選定。 日射を考慮した建物配置。 デマンドを設置し、使用電力を管理。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	Q3 室外環境(敷地内) 0
Q2 サービス性能	食品取扱いの売場等に防汚性の高い床タイルを採用し、清掃管理業務に配慮した。	
LR1 エネルギー	BPI _m =0.94、BEI _m =0.75	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率=77% 交通負荷抑制を考慮した、配置計画。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓に加えて節水型便器を採用。 ODP=0、GWP(100年値)1以下の発砲断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される